

砂防事業について理解頂くため、出前講座を行いました

～苦楽園自治会 自主防災会 出前講座～

～六甲砂防事務所～

「苦楽園自治会自主防災会」が主催する会議の中で、「六甲山地における土砂災害と対策」と題して、六甲砂防事務所で開催している砂防事業や六甲山地で発生した土砂災害の歴史、その対策についての出前講座を行いました。

土石流模型実験装置を使った実験では、砂防堰堤がある場合、ない場合の比較を行い、土砂災害が発生した際の砂防堰堤の効果を視覚的に体験していただきました。

- 実施日：令和4年9月4日(日)
- 実施時間：午前11時から午後12時30分
- 実施会場：苦楽園市民館(西宮市)
- 参加人数：13名
- 実施内容：①事業概要説明
②昭和42年災害を振り返る【映像】
③六甲山地の砂防堰堤【映像】
④土砂動態【映像】
⑤土石流模型実験



砂防事業の説明



土石流模型実験装置を使った実験



六甲山地の砂防堰堤の説明【映像】

土砂災害の映像を使った説明
【昭和42年災害を振り返る】

参加者からは、「土石流は、どれぐらいの期間で砂防堰堤に貯まるのでしょうか」「剣谷の方にある既設の砂防堰堤は、いつ頃完成したのでしょうか」「貯まった土砂を少しずつ下流へ流すと河川の底は上昇するのでしょうか」「土石流模型実験装置にあります3つの砂防堰堤のタイプはどのように使い分けをされるのでしょうか」「鋼製枠が付いている砂防堰堤で、土砂はどのようにして貯まるのでしょうか」など、たくさんの質問があり、六甲山地の砂防事業について大変関心を持って頂きました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL:078-851-0535

